

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（消防に関する施設：消防自動車）整備事業						
補助事業者名	厚岸町長						
実施場所	厚岸消防団第4分団（厚岸町太田5の通り10番地） 厚岸消防団第3分団片無去部（厚岸町片無去105-6）						
補助事業の成果の目標	<p>今回、更新を行う消防自動車等のうち、消防ポンプ自動車CD-I型については、配備後27年を経過している。エンジン燃焼室及び排気経路に堆積するカーボン等の炭化物の固着により、エンジン出力の低下が激しく、消防ポンプの稼働に影響を与えている。また、老朽化に伴い車体の腐食が著しい状況である。当該車輛を整備することで、水利確保が難しい山間部において、積載水による初期消火活動が行えるほか、大規模災害時による断水時には、住民に生活用水の提供ができ、町民の生命と財産を守ることができる。</p> <p>小型動力ポンプ積載車については、配備後23年を経過している。老朽化に伴い、車体の腐食が著しく、更にはエンジン出力の低下が激しく、緊急走行に影響を来している状況。当該車輛を整備することで、火災発生時に迅速かつ効果的な消火活動により延焼拡大を防ぐことができ、町民の生命と財産を守ることができる。</p>						
補助事業の内容	消防ポンプ自動車CD-I型（水槽付） 1台 小型動力ポンプ積載車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和4年6月 ～ 令和5年3月						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		88,990,000				88,990,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>消防ポンプ自動車CD-I型（水槽付）、小型動力ポンプ積載車が整備されたことにより、エンジン出力低下等の不具合が解消され、安全かつ安定的に運用を行うことができ、町民の生命を守ることができることが確認できた。</p> <p>職員からの聴き取りにより、事業完了後の約2ヶ月間の活動を確認したところ、火災出動等の要請がないことから、実績はないとのことだったが、適切な維持管理に努め、故障等の不具合はないことが確認できた。</p> <p>また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを車両本体に表記及び町ホームページへ掲載し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、消防ポンプ自動車CD-I型（水槽付）、小型動力ポンプ積載車の現況確認や地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共施設（医療施設：医療機器購入）整備事業						
補助事業者名	厚岸町長						
実施場所	町立厚岸病院（北海道厚岸郡厚岸町住の江1丁目1番地）						
補助事業の成果の目標	町立厚岸病院ではいくつかの医療機器の老朽化が著しく、メーカーによる修理部品供給も終了している。そのため、故障した場合には迅速かつ的確な診療に支障を来す恐れがあり、更新が必要な状況である。本事業で機器を更新することにより、地域住民に対する、安定的で質の高い医療サービスの確保が図られる。						
補助事業の内容	①全身用X線CT診断装置 1式 ②人工呼吸器 1台 ③多項目自動血球分析装置 1台						
補助事業の始期及び終期	令和4年7月 ～ 令和5年1月						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		43,769,000				43,769,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業により、医療機器を更新したことで、老朽化の著しい医療機器の故障によって、診療の支障を来すことへの懸念が解消された。それぞれの医療機器に対する聞き取りの結果は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身用X線CT診断装置 高速撮影を可能としたことにより、患者の息止めの負担を軽減し、息止めができない場合であってもブレが少ない画像を撮影できるようになった。また、3Dワークステーションにおいては、骨分離の性能が高く簡単に早く目的部位の画像構成が可能となった、これにより検査から診断までの時間で3D作成が可能となり診断に大きく貢献することができるようになった。 ・人工呼吸器 タッチパネルで扱いやすく誤作動を防止する操作があるため安心して使用できる。また、アラーム発生時のメッセージは色分けされており扱いやすい。 ・多項目自動血球分析装置 網状赤血球を自動で測定できるため、透析患者、入院患者等の検査に利用できるようになった。また、胸水、腹水、関節液の検査も機器でできるようになり効率的に検査ができるようになった。 <p>これらにより地域住民に対する安定的で質の高い医療サービスの確保が図られたと評価できる。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を、機器本体部への標記と町立厚岸病院ホームページの掲載及び院内掲示により住民への周知を実施した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも機器の使用状況や、利用者及び病院関係者のニーズを踏まえながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共施設（産業の振興に寄与する施設：町営牧場大別団地パドック補修工事）整備事業						
補助事業者名	厚岸町長						
実施場所	厚岸町営牧場大別団地（厚岸郡厚岸町大別1番地）						
補助事業の成果の目標	<p>町営牧場は預託牛を飼育することにより、酪農家の経営全般を支える役割を担っているが、冬期に利用する施設の一部でパドック牛床の老朽化が著しく、十分な除糞作業が出来ないことから泥濘化し、冬期預託牛の健康管理に支障を来たしている。</p> <p>本事業により、老朽化したパドックの牛床を補修することで、泥濘化を抑制するとともに、適切な除糞作業が実施されて牛床の衛生状態が改善される。そのため「趾間（しかん）フレグモーネ」や「趾皮膚炎」などの蹄病の疾病リスク低減が見込めることにより預託牛の健康を増進し、産業の振興に寄与することを目的とする。</p>						
補助事業の内容	補修工事一式						
補助事業の始期及び終期	令和4年7月から令和4年11月まで						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円	円 19,008,000	円	円	円	円 19,008,000
	交付金額		17,450,000				17,450,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、冬期舎飼い施設で課題となっていたパドック牛床の課題が大幅に改善された。</p> <p>冬期に利用する既存施設の一部はパドック牛床の老朽化が著しく、十分な除糞作業が出来ないことから泥濘化が発生して冬期預託牛の健康管理に支障を来していた。</p> <p>本事業の実施による効果について、牧場長はじめ従業員に聞き取りしたところ、「パドック牛床を改善したことにより除糞作業が容易になった。また牛床を改修してからは足を痛める牛が減少しただけでなく、体全体も清潔に保つことが出来るようになったため成長も良くなったと感じている。」と評価されており、本事業が周辺酪農家の産業振興に寄与していることが確認される。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を施設に表記するとともに、町ホームページへの掲載や町営牧場が定期的に発行する「牧場たより」で紹介することで、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：町営牧場用機械購入）整備事業																
補助事業者名	厚岸町長																
実施場所	厚岸町営牧場大別団地（厚岸郡厚岸町大別1番地）																
補助事業の成果の目標	<p>町営牧場は酪農家の安定した経営を支えるために、最大の努力を行っているところであり、そのために必要な作業機等の整備を行い農業振興に貢献するものである。</p> <p>本事業により、作業機器の整備を行うことで牧草の収穫及び保管を効率化するとともに、安定的なふん尿処理体制を整備することにより牧草の収量が確保され周辺酪農家の産業の振興に寄与することを図る。</p>																
補助事業の内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">トラクター</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td>フロントモア・バタフライモア</td> <td style="text-align: right;">1式</td> </tr> <tr> <td>プッシュワゴン</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td>ディスクハロー</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> </table>							トラクター	1台	フロントモア・バタフライモア	1式	プッシュワゴン	1台	ディスクハロー	1台	ホイールローダ	1台
トラクター	1台																
フロントモア・バタフライモア	1式																
プッシュワゴン	1台																
ディスクハロー	1台																
ホイールローダ	1台																
補助事業の始期及び終期	令和4年7月から令和4年12月まで																
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計										
	事業費	円	円	円	円	円	円										
	交付金額		43,269,600				43,269,600										
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により牧草の収穫・保管及び除ふん作業が効率化されたことにより、周辺酪農家の産業の振興に寄与することを図れた。</p> <p>それぞれの作業機器について、牧場管理者へ聞き取りしたところ、以下のとおりであった。</p> <p>ホイールローダにおいては、牛舎の軒高の低いところや狭いところなど、従来手作業で行っていた箇所の除糞作業が容易になり作業負担が大きく改善された。</p> <p>プッシュワゴンとトラクターについては夏期の舎飼いに伴い発生した堆肥の運搬作業において、牧場所有のトラックに比べ一度に大量かつ天候と圃場を選ばずに運搬できたことから作業の効率化が図られた。</p> <p>ディスクハローにおいては放牧地から採草地への転換を要する草地において、でこぼこした牛道（獣道）の補修作業に活用し採草地の確保に貢献できた。</p> <p>フロントモア・バタフライモアについては刈取り作業が大幅に効率化され、作業員不足に対する軽減が図れた。</p> <p>また本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を各作業機本体に表記したほか、町ホームページへの掲載、牧場便りで紹介することで、地域住民への周知を図った。</p>																
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。																
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無																

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：町営牧場給水施設更新工事）整備事業						
補助事業者名	厚岸町長						
実施場所	厚岸町営牧場大別団地（厚岸郡厚岸町大別1番地）						
補助事業の成果の目標	<p>町営牧場は預託牛を飼育することにより、酪農家の経営全般を支える役割を担っているが、既存の給水施設は構造上、衛生管理に問題があり、感染症の感染リスクが指摘されている。</p> <p>また、ヒーター機能が無いため、冬期の安定した飲み水供給にも支障をきたしている。加えて老朽化が著しく、水漏れが発生し、飼育管理に支障を来している。</p> <p>本事業により給水施設を更新し、①季節を問わず飲み水を衛生的・安定的に供給することにより、②預託牛の感染リスクを改善し、産業の振興に寄与することを目的とする。</p>						
補助事業の内容	<p>全体：実施設計一式・機械設備工事一式・電気設備工事一式</p> <p>本年度：機械設備工事一式・電気設備工事一式</p>						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：令和2年度～令和4年度</p> <p>本年度：令和4年8月～令和4年11月</p>						
事業費及び交付金額		令和3年度 まで	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計
	事業費	円 27,225,000	円 12,210,000	円	円	円	円 39,435,000
	交付金額	25,890,000	11,250,000				37,140,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、冬期舎飼い施設で使用していた給水器の課題が大幅に改善された。</p> <p>既存の給水施設は、構造上の課題から衛生管理に問題があるため感染症のリスクが指摘されていたが、令和2年度から複数年にわたり事業を継続して設置した解放型の給水器は冬期間においても掃除が容易であり、常に清潔な水を提供できることからBVD-MDウイルス等の感染症予防効果が期待される。</p> <p>また、既存の給水施設にはヒーター機能が無かったため、厳寒期においては育成牛が夜間に飲水することが困難であったが、給水器の更新整備により厳寒期においても24時間の飲水が可能になったことから育成牛の成長に大きく貢献すると考えられる。実際に同時期の1日当たり飲水量を月別で比較すると、令和2年11月では25.4ℓ/日頭であったのに対し、令和4年11月では29.0ℓ/日頭と飲水量が約14%も増加した。当牧場に預託されている育成牛の月齢（15～24ヶ月齢）では、1日に必要とする飲水量の目安は約29.4ℓとされていることから必要量の目安に到達したと思われる。また、本事業の効果については、牧場長はじめ従業員からは、「給水器を更新してからは牧草ロールの食い込みも良く、牛の状態が例年より良い」とのことであり、預託農家からは「町営牧場から退牧してくる牛が大きくなった・おとなしくなった」などと評価されていることから、本事業が周辺酪農家の産業振興に寄与していることが確認される。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を各給水器に表記するとともに、町ホームページへの掲載や町営牧場が定期的に発行する「牧場たより」で紹介することで、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：学校給食無償化事業）							
補助事業者名	厚岸町長							
実施場所	厚岸町内							
補助事業の成果の目標	学校給食において、給食無償化を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図る。また、多くの地場産品の活用により、その地域で生産されたものへの意識の向上や給食無償化の実施に際する税金・交付金のあり方を主体的に考える自覚を育ませ、安心して子育てできるまちづくりを推進する。							
補助事業の内容	学校給食の無償化							
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和5年度							
事業費及び交付金額		令和3年度 まで	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計	
	事業費	円 65,725,933	円 18,227,367	円 18,294,290	円	円	円 102,247,590	
	基金 造成 額	交付金	72,000,000	10,000,000	5,000,000			87,000,000
		市町村費等						0
		その他						0
		運用益	8,608	372	232			9,212
		計	72,008,608	10,000,372	5,000,232	0		87,009,212
	基金処分額	53,600,000	17,000,000	16,409,212				87,009,212
基金残額	18,408,608	11,408,980	0	0			/	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本基金事業を活用することにより、学校給食無償化事業が安定的に実施されている。</p> <p>また、各学校を通して児童生徒及び保護者に聞き取り等を実施したところ、以下の評価が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費が無料になることで家計の負担が減り、助かっている。 ・給食の地産地消メニュー等を子どもが楽しみにしており、食育につながっている。 ・親が働いて国に払った税金が、学校給食無償化の原資となっていることを子どもに教えるきっかけとなっている。 <p>以上のように、学校給食無償化事業の実施により、保護者の経済的負担が軽減され、地域で生産されたものへの意識の向上や、給食無償化における税金・交付金のあり方を主体的に考える自覚を育ませることにつながっている。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を町ホームページへの掲載によって地域住民への周知を行った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連特定事業（医療に関する事業：子ども医療費助成事業）							
補助事業者名	厚岸町長							
実施場所	厚岸町内							
補助事業の成果の目標	<p>本町では平成30年8月から、子どもの健康で健全な育成を推進することを目的に子どもの医療費を助成しており、継続的かつ安定的な事業の実施が求められている。本事業の実施により、子どもの健やかな成長に寄与するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進を図る。</p>							
補助事業の内容	子ども医療費の助成							
補助事業の始期及び終期	令和2年度～令和7年度							
事業費及び交付金額		令和3年度 まで	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 予定	計	
	事業費	円 22,141,119	円 18,330,265	円 17,632,000	円 16,878,000	円 16,675,000	円 91,656,384	
	基金 造成 額	交付金	71,510,000	5,000,000	4,000,000	3,000,000	2,000,000	85,510,000
		市町村費等						0
		その他						0
		運用益	6,663	1,033	811	551	281	9,339
		計	71,516,663	5,001,033	4,000,811	3,000,551	2,000,281	85,519,339
	基金処分額	20,000,000	16,000,000	17,000,000	16,500,000	16,019,339	85,519,339	
	基金残額	51,516,663	40,517,696	27,518,507	14,019,058	0	/	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本基金事業を活用することにより、子ども医療費助成事業が安定的に実施されている。</p> <p>また、受給者である保護者からは以下のような評価を得られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもが入院した時は、食事代などの実費しか払わなかった。医療費無料なのがとてもありがたいと実感した。 ・無料だからこそ、軽症のうちに気軽に受診できて、大きな病気を予防できていると思う。 <p>以上のように、子ども医療費助成事業の実施により、保護者の経済的負担が軽減され、子どもの保健の向上と福祉の増進に繋がっている。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を町ホームページへの記載によって地域住民への周知を行なった。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連特定事業（医療に関する事業：町立病院維持運営）							
補助事業者名	厚岸町長							
実施場所	厚岸町内							
補助事業の成果の目標	<p>本町では町民の命と健康を支える中核的な医療機関として急性期から慢性期までの幅広い医療を行い、厚岸郡では唯一の入院施設をもつ町立病院で、透析医療、小児医療も行っている。</p> <p>しかし、医師偏在化が進み、常勤医確保が難しいなか、病院機能を維持継続していくためには一定の医師が必要であり、本事業の実施により医師を確保し安定した医療環境の構築を目指す。</p>							
補助事業の内容	町立病院の維持運営							
補助事業の始期及び終期	令和3年度～令和8年度							
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度 予定	令和6年度 予定	令和7年度 以降予定	計	
	事業費	円	円	円	円	円	円	
	基金 造成額	交付金	32,580,000	48,603,000	20,000,000	20,000,000	40,000,000	161,183,000
		市町村費等						0
		その他						0
		運用益	14	672	1,117	717	334	2,854
		計	32,580,014	48,603,672	20,001,117	20,000,717	40,000,334	161,185,854
	基金処分類	0	25,700,000	40,000,000	40,000,000	55,485,854	161,185,854	
基金残額	32,580,014	55,483,686	35,484,803	15,485,520	0			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本基金事業を活用することにより、医師を確保し安定した医療環境の構築が図られた。</p> <p>また、町立病院の利用者等から聞き取りを実施したところ、以下の評価が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師が安定的にいることで安心して暮らすことができる。 ・夜間でも救急で病院にかかる安心感がある。 <p>以上のように、町立病院維持運営事業の実施により、医師が安定して確保できていることで、利用者から安心して受診できる旨、評価をいただいているところである。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を町ホームページへの記載によって地域住民への周知を行なった。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							